

くまもと

☎ 議会だより

88号
2017.10.25



10月1日に、第60回村民体育祭が開催され、総合優勝は第3分会でした。

も く じ	9月の定例会	2~3
	決算審査特別委員会報告書	4
	産業厚生常任委員会報告	5
	一般質問における発言の要旨一覧	5
	一般質問	6~11
	頑張ってます 農愉会	12

平成28年度一般会計決算は41億7,544万円

9月定例会は、9月6日から14日までの9日間の日程で開会し、平成28年度財政健全化判断比率の報告、平成28年度一般会計及び各特別会計の決算認定5件、条例制定1件、規約変更1件、平成29年度の一般会計及び国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道特別会計の補正予算4件、の12議案を初日に上程し、そのうち規約変更1件を可決しました。

決算認定は、昨年に引き続き決算特別委員会を設置し委員会での質疑と審査を実施しました。

一般質問では、6人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。

最終日、14日には、当初上程の全議案及び「全国森林環境税の創設に関する意見書案1件」を審議し、それぞれの議案を認定、可決しました。

定例会初日の6日は、まず6月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会・人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

続いて議案では、財政健全化法に基づく財政の健全性を判断する比率について、柳詒村長から報告があり、平成28年度の財政健全化判断比率及び資金収支不足比率いずれの比率も基準を下回っていました。

次に、平成28年度球磨村一般会計及び特別会計4件の決算認定の上程後、豊永征介代表監査委員から決算審査結果の報告がありました。

続いて、条例関係1件、規約関係1件、平成28年度の一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・簡易水道特別会計の補正予算関係4件の12議案を上程しまし

た。規約関係1件は、熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更で、県下市町村等の同文議決を経る必要があるもので、原案のとおり可決しました。

【一般質問】

11日に4人、12日に2人の議員が登壇。一般質問を行い、生活基盤インフラの整備、観光・農業の振興、防災関係、来年からの国民健康保険料、不在地主・所有者不明土地、コミュニティ組織支援、財政健全化など執行部の考えを質しました。（詳細は6頁～11頁に掲載）

【決算審査特別委員会】

平成28年度の決算認定では、全議員を委員とする決算

審査特別委員会を設置し、付託された全決算の認定を決定しました。

一般会計は歳入額44億5651万円、歳出額41億7544万4千円。

特別会計では、国民健康保険は歳入額6億4180万9千円、歳出額5億9603万4千円。後期高齢者医療は歳入額5003万2千円、歳出額4997万6千円。介護保険は歳入額6億8827万円、歳出額6億7176万9千円。簡易水道は歳入額7927万4千円、歳出額6749万6千円でした。（詳細は、4頁に掲載）

【平成28年度決算認定を含む全議案を審議・可決】

最終日の14日には、平成28年度球磨村一般会計決算及び

特別会計5件の決算について、嶽本委員長が決算特別委員会の結果を報告、賛成多数によりいずれも認定しました。

条例関係は、球磨村企業立地促進条例の制定で、ものづくりや観光、6次産業化など地域の特性を生かした成長分野に挑戦する事業者の設備投資を固定資産税の減免措置で促進するもので、原案のとおり可決しました。

補正予算関係では、平成29年度の一般会計並びに国民健康保険、介護保険、簡易水道の各特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

一般会計の主な内容は、一勝地永崎団地住宅建築関係で、熊本地震の影響による資材費・人件費高騰による不足見込み分の定住促進住宅建築工事など870万円を

含めた総務管理費の1210万円の増、戸建て木造住宅耐震改修等事業補助金など土木管理費465万8千円の増、村道全線維持など道路橋梁費1022万7千円の増、「復興まちづくり計画」関係の指定緊急避難所防災機能強化整備測量設計業務委託料1000万円を含む消防費1145万2千円の増、渡小学校校舎改修設計委託料、教育費520万円の増、歳入歳出それぞれ7353万9千円を追加し、歳入歳出総額36億4085万1千円となりました。

また、議員発議による「全国森林環境税の創設に関する意見書」を全会一致で可決しました。

臨時議会

10月臨時議会が11日開会され、専決処分の報告1件（和解及び損害賠償額の決定について）、専決処分事項報告承認1件（平成29年度一般会計補正予算）、契約1件、の合計3議案を審議し、原案のとおり可決されました。

主な内容は、村道熊田線改良工事に伴う工事請負契約の締結について、及び補正予算では、衆議院議員選挙に伴う増、歳入歳出それぞれ550万円を追加し、総額36億4635万1千円となりました。

議案等の審査結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	報告第4号	平成28年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	報告
2	議案第25号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	原案可決
3	認定第1号	平成28年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定
4	認定第2号	平成28年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定
5	認定第3号	平成28年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定
6	認定第4号	平成28年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定
7	認定第5号	平成28年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定
8	議案第26号	球磨村企業立地促進条例の制定について	原案可決
9	議案第27号	平成29年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
10	議案第28号	平成29年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
11	議案第29号	平成29年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
12	議案第30号	平成29年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
13	発議第1号	全国森林環境税の創設に関する意見書案	原案可決

議案等の審査結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	報告第5号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告
2	承認第5号	専決処分事項報告承認について（平成29年度球磨村一般会計補正予算）	原案承認
3	議案第31号	工事請負契約の締結について	原案可決

決算審査特別委員会報告書

決算特別委員会 委員長 嶽本 孝司

平成 28 年度の一般会計や特別会計を審査するため、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。9月7日と8日の2日間、決算書並びに関係資料を担当課の説明を求めながら審査しました。

なお、委員会でまとめた主な意見は下記の通りです。

総務課

- ① 住宅使用料や情報通信料は、不納欠損にならないよう収納未済額の縮小に努力されている。また、インターネットの加入者が減少している中、料金の見直し時期に来ているので、検討願いたい。
- ② 村が運営するコミュニティバスは、利用客の状況に応じて、便数、路線などの検討を行い、利用促進に繋げていただきたい。

税務課

- ① 不納欠損について、税の公平負担を考えると、分納誓約書といったあらゆる対策をとっていただきたい。

企画振興課

- ① 共助のむらづくり支援事業は、要項が変更されているが、議会にも報告願いたい。
- ② 移住定住者への住宅改修に関する助成率を検討し、空家対策に努めていただきたい。

住民福祉課

- ① 敬老会について、平均して4割程度の出席者となっている。お祝いの意味もあるので、出席増加に努めていただきたい。
- ② 介護支援ボランティアの人数は年々減少してきているので、ボランティアの増加に努めていただきたい。

健康衛生課

- ① 浄化槽の毎月の点検料が利用者等の負担となっている。何か行政としてできないか検討願いたい。

産業振興課

- ① 有害鳥獣被害対策について、箱罾(わな)の要望が多いので検討願いたい。
- ② 米の直接支払交付金が平成30年で終了するので、農家の所得向上に繋がる西洋野菜やタフシャの栽培など、普及に努めていただきたい。

建設課

- ① 地区からの道路改良等要望があっている路線については、予算と見比べ早めの整備を検討願いたい。また、道路、公共施設の維持、補修については、迅速な対応をお願いしたい。

教員委員会

- ① 教育論文は13名の応募があり、渡小8名、一勝地小2名、球磨中3名で温度差があり、教育者の資質向上の観点から積極的に応募するよう、教育委員会からの指導を望む。
- ② 教育の基本は、子供たちのために何が出来るかである。指導主事の業務をよく理解し、配置するのが望ましい。

会計課

- ① 村が出資している各団体の経営状況については、実際の残高証明の把握に努めていただき、注意し判断をしてもらいたい。
- ② 基金運用について、引き続き万全を期していただくとともに状況に合った運用をお願いする。

産業厚生常任委員会報告

産業厚生常任委員会 委員長 田代 利一

平成 29 年 8 月 24 日午後、球磨村議会議員控室において、田代委員長以下 5 名の委員全員出席のもと産業厚生常任委員会を開催しました。

村執行部より上部建設課長の出席により「平成 29 年度の建設課関係事業の進捗状況について」を議題とし、説明を求めました。

内容は、大きく 5 つの区分で、①平成 28 年度繰越事業、②農林関係事業、③土木関係事業、④他課に属する所管事業、⑤災害復旧事業です。

説明終了後、質疑応答が行われ、特に、発注後の速やかな事業の着手が強く要望され、意見交換では、内布線の踏切の改良、山口交差点の改良用地交渉などの要望が示されました。

最後に、改良事業や継続事業箇所等の現地視察を行うことが計画されました。



村道大無田線改良事業

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨
田代利一議員	①安心して暮らせる生活基盤の整備 ②観光振興について ③村民の所得向上について
多武義治議員	①防災マップの見直しを ②村職員採用の方法は ③来年からの国保料はどうなる ④高知県大川村が検討中の町村総会の所感
舟戸治生議員	①村の災害対策について ②村内河川による水災害の危険性とその対策 ③中山間地域との関わりについて ④住みたい自治体に選ばれるためには ⑤不登校、いじめについて ⑥子育て世代について
小川俊治議員	①簡易水道管敷設、学校施設整備等の計画と財政措置 ②球磨村防災会議と関連する球磨川タイムラインの推進と今後の取り組み ③国民健康保険税制度改正に伴う試算状況
宮本宣彦議員	①コミュニティ組織支援について ②村長等給与特例（カット）について ③地域座談会について ④地方創生拠点整備交付金事業について
高澤康成議員	①財政の健全化について

地域での安心・安全な 防災活動、防災意識は。

答 地域の中心的なリーダーが必要で、地域ごとに防災組織を立ち上げていただきたい。

田代議員 安心して暮らせる生活基

盤の整備について、治水・治山・砂防対策、急傾斜地対策は。地区会議での防災意識について、6月議会での質問に対し、地域に持ち帰って話してもらおう仕組みづくりが大切だとの答弁であったが、その後の地域活動についての状況は。

柳詰村長 治水対策として球磨川の堆積土砂の掘削、堤防の強化が行われ、治山事業は神瀬の丑洗、南木場で事業化され、砂防事業は柳詰地区、岳本地区で調査が行われ、急傾斜地対策は田代地区、楮木地区で取り組まれている。今後の急傾斜地崩壊対策事業の要望箇所については、継続して対策工事を行っている田代地区と楮木地区に加え、四蔵地区を要望している。

熊本地震や九州北部豪雨の教訓に習い、実効性のある自主防災組織等

の構築が喫緊の課題である。地域内で予想される災害の内容などを考慮

しつつ、地域の中心的なリーダーをどのように育てるのかなど、自主的に実効性のある組織の構築が重要である。

田代議員 観光振興について、今後

はおもてなしばかりではなく、球磨村に降りていただき、お金を落とすてもらったり住民がよりどころとして駅を活用することが重要である。地方創生拠点整備交付金を活用した、一勝地駅周辺と渡駅周辺整備の進捗状況と活用方法は。

柳詰村長 現在、設計委託を発注し

ているところであり、計画としては、「勝地駅には「Sし人吉」と特急「かわせみ・やませみ」号が停車しているので、駅舎内に常設の特産品販売スペースを設け、販売の充実を図る。渡駅は交通の結末線として、観光情



田代 利一 議員

報発信スペースを設置する。併せて、駅前周辺の舗装やバリアフリー化を行い、施設全体の利便性を向上させ、利用者を増加させ、人の流れを作り売り上げ増に結び付けたい。

田代議員 村民の所得向上に向

けた取り組みとして、高齢化、立地条件等で厳しい中、作付面積や販売金額は増えているが、安定した農業所得を得るまでには至っていない。熊本県夢チャレンジ事業を活用した洋物野菜栽培による産地化の提案の内容は。

柳詰村長 今年度は、ほづき、

ブロッコリーに代わり、新たに、にんにく、ズッキーニを加え、インゲン、おくら、くりゆたか、甘長とうがらし、ミシマサイコとさせて新たな7つの振興作物とす



契約栽培によるミシマサイコ

る。洋物野菜の取り組みについては、地域づくり夢チャレンジ事業として飲食店との契約栽培を目指し、ミニ大根、ミニにんじん、ミニかぶ、ベルギーエンドウ、しろなすの生産に取り組んでいる。各生産者の要望や意見を伺い、集約しながら、安定した価格、継続的な栽培及び生産量を確保しながら、契約栽培の産地化を目指したい。

来年からの国保料はどいつなるのか。

答 国の方向性として、急激な保険料アップにならないよう緩和措置をとるようだ。



各家庭に配布されている防災マップ

想定区域の見直しなどに応じた修正は、さまざまな観点からの分析が必要なので、適切に検討していく。

多武議員 不適切と思われる避難所は、変えるべきと思うが。

柳詰村長 今後、地域住民と検討を重ねていきたい。

多武議員 次に、職員採用試験で、現金を受け取ったとして、収賄の疑いで前市長を逮捕したとの新聞記事があった。そこで、球磨村の職員採用は、どのような方法で行われているのか。

柳詰村長 9月に1次試験の筆記試験と、10月に2次試験の面接試験を行う。1次試験は、県市町村の共同試験に参加し、全国偏差値を超える受験者のうち、上位から面接試験へ

案内している。面接は、村長、副村長、教育長が面接官となり、面接内容や作文などの採点を行い、上位者から採用している。

多武議員 職員採用に関し、適正に行っているというところか。

柳詰村長 適正に行っている。

多武議員 次に、来年から国民健康保険の運営が、市町村から県に移る制度変更に伴い、高齢者や低所得者が多い、加入者の負担増が懸念されている。国保の慢性的な赤字財政を広域化により安定させるのが目的とされているが、来年からの保険料はどうなるのか。

柳詰村長 現在、県が試算を行っている段階で、状況を示すことはできない。財政を県に移管することによ

り、負担の公平化が図られるようになるのかもしれない。国の方向性としては、急激な保険料アップにならないよう、緩和措置をとるようである。

多武議員 次に、高知県大川村では、議会に変わる町村総会の設置を検討すると、村長が表明され話題になっている。背景には、議員のなり手不足に伴う議会存続の危機感があったと思われる。球磨村は、町村総会の心配はないと思うが、大事なことは議会の役割を、住民に十分伝えていくことが重要だと思っている。町村総会に対する村長の所感を。

柳詰村長 全住民が直接会議に参加し、意志決定を行うことは現実的ではない。執行部と議会が車の両輪を果たし、目的である住民福祉サービスを推進して行くことこそ、地方自治体要請の使命であると認識している。町村総会の検討よりも、議会活性化が大きなテーマであると思っている。

柳詰村長 今後の気候変動や、洪水

試験に参加し、全国偏差値を超える受験者のうち、上位から面接試験へ



多武 義治 議員

災害防止への取り組みは



地域自主防災力の強化だ。

舟戸議員 球磨村において想定される災害は何かがあるのか。そして災害を発見するためにはどのような取り組みが必要なのか。

部見直しを行い、防災会議で認可をいただいたところだ。

柳詰村長 想定される災害は、近年では、梅雨前線による豪雨災害が2度にわたって発生し、台風や豪雪による集落の孤立がある。今年度は、まず球磨村地域防災計画の内容の一

部見直しを行い、防災会議で認可をいただいたところだ。
舟戸議員 球磨村防災マップに避難勧告の説明、自主避難の必要性について周知しているが、避難が空振りという場合でも、教訓を生かした万全な防災対策の周知ができないものか。

大瀬総務課長 避難所の開設は自治体が、避難所の運営そのもの、仕組みを確実に構築する必要がある。今後ブロック会議を通じて、意識づけを行っていきたく思っている。

舟戸議員 中山間地等において、不在地主の増加と所有者不明土地の増加が進んでいる。その結果、利用管理されない農地、森林等が増大しているが、不在地主・所有者不明土地の状況は。

柳詰村長 登記簿記載上、住所が村外にある方は、山林面積の約29%、



舟戸 治生 議員

農地面積の約10%となっている。

舟戸議員 住みたい自治体に選ばれるためには、少子高齢化が加速する中で、これに歯止めをかけて、定住人口の増加を図る必要があると考え、中山間地での若者層が移住定住するために求められるものは何か。また、仕事をするのに必要なことは何か。

柳詰村長 本村が取り組んでいる移住定住事業は、これまでに空き屋バンク制度による活用可能な空き屋、住居の確保だ。また、移住希望者に村をPRするためのツールとして、充実した行政サービスや、地元で働く人たちの声を編成したパンフレット、PR動画、ポスターなどを制作し、村外の移住希望者へ向けてPRを図っている。

舟戸議員 球磨村における不登校やいじめの実態はどうなのか。また、

不登校の児童生徒への対応はどのようにしているのか。

柳詰村長 本村でもこうした状況は、どの児童生徒にも起こりうる非常に身近な課題として捉える必要がある。課題解決に向けては、その要因や背景について、関係者、関係機関が一丸となって解明に取り組みることが重要だ。

友尻教育長 不登校への対応だが、不登校対策委員会を設置して、未然防止、早期解決に向けて努力している。学校全体の課題として全職員一丸となり、学力保障、進路保障にも十分配慮しながら、問題解決に向けて努力している。

舟戸議員 障害者と健常者との交流の取り組みはどうなのか。また、子育て世代からのさまざまな要望があると思うが、状況をどのように把握されているのか。

柳詰村長 障害のある子供もいない子供も、同じ場でもとに学が教育環境づくりを推進している。小中学校、特別支援学級通級における指導環境の整備を図るとともに、学校間の交流や協同学習の実施に継続して努めていく。



避難所となっている「さんがうら」

簡易水道配水管更新の

一般財源確保できるのか

答 確保できるものと確信をしている。借金なしでやらせていただく。借金

小川議員 簡易水道の老朽化、漏水に対する事業計画の内容を伺う。

柳詰村長 強靱な水道の構築を基本に施設の更新、耐震化及び危機管理に対応できる水道を目指す。渡配水区の配水管は30年を経過し、経年劣化が原因とみられる漏水事故が発生している状況。

計画内容は平成30年度より開始し14年間の事業予定。事業費は4億4千万円で、毎年3千万程度。財源は、国の社会基盤施設耐震化等交付金、補助率10分の4を活用する予定。一般財源として水資源活用基金を毎年2千万程度充当する。

松村健康衛生課長 初年度平成30年度は、栗林地区で消火栓2器が設置できる配水管更新を計画。更新する管は水道用耐水性、硬化塩化ビニルライニング鋼管を使用する。

小川議員 14年の長い期間となるが、事業の延長はないのか。

柳詰村長 計画の段階での期間の延長・短縮は想定していない。

小川議員 渡地区に続く他の配水区も計画されると思う。期間内で終わるよう努力を願う。

一般財源として水資源活用基金から毎年2千万円を充てるとされているが、共同給水施設整備事業に使用される経費も含め確保できるのか。

柳詰村長 立木の法正林化、間伐材等の利用を含め売り上げの4千万円程度基金に積み立てたい。簡易水道以外の水資源事業等にも1千万円程度充てている。

小川議員 今後、立木の価格の変動を危惧するが。

柳詰村長 法正林化等の収益で4千万円の基金積み立てはできると確信している。渡地区の事業は起債なし、借金なしでやりたい。

小川議員 次に、学校施設の整備について計画があるのか伺う。

柳詰村長 球磨中学校の体育館の大規模改修工事、校舎トイレ改修工事、駐車場舗装工事を開始している。今後は校舎、教室棟、管理棟、特別教室棟の老朽化対策として整備工事が必要。一勝地小学校は平成22年度改築を行っているので当分の間、大きな整備計画は該当しない。渡小学校は、今回の設計委託費計上を柱として、今後は来年度の国の補助事業の採択を受けることができれば、大規模な改修を行いたい。

小川議員 教育環境充実の立場から、職員の意見要望等を取り上げる機会の考えはあるのか。

山口教育課長 環境に配慮した改修となるよう、関係機関と協議しながら進める。

小川議員 次に、球磨川タイムライ



小川 俊治 議員



今年度改修予定の渡小学校

の取り組み、推進についての計画は。

柳詰村長 10月中旬に各ブロック会議を行い、平成30年度までに地区ごとの事前防災行動計画(タイムライン)を完成させる準備をしている。

小川議員 防災に関する情報の伝達方法について伺う。

大瀬総務課長 緊急時の情報伝達は、防災無線を使用している。今後、様々な課題について、ブロック会議において討論を行い整理していきたい。

一勝地地域に買い物ができる店舗がなくなれば、生活に支障が出てくることとなるが。

答

買い物支援について、十分考えていきたい。

宮本議員 コミュニティ組織支援における共助のむらづくり支援の地域活動への効果は。

柳詰村長 政策の中の1番目に掲げている共助のむらづくりが、5つの政策を進める中で大変重要な位置を占めている。今年で4年目となり、過去3年間で延べ約6500人の方々の活動により、生活環境の整備、地域での花いっぱい運動や山桜周辺の整備などの地域活動が展開されている。

宮本議員 地域公民館活動への支援は。

柳詰村長 平成28年度から公民館活動支援という目的での補助金は交付していない。地域の夏祭りや運動会、地域の美化作業や健康教室などの取り組みが実施されており、それぞれの活動を実質的な公民館活動と捉えている。

宮本議員 公民館活動を推進するにあたっては、中央公民館組織を置いている教育委員会が支援する必要があると思うが。

友尻教育長 教育委員会の働きかけが弱かったというところもあったので、今後、地域の方々に対して、地域公民館の活動の意義や必要性等々について、十分に周知を図っていく努力をしなければならぬと思う。

宮本議員 事務的な経費も含めて、今後、地域公民館への財政的な支援の考えは。

友尻教育長 地域の方々への啓発的な部分を教育委員会としてやってみて、そこから先の一つの選択肢として考えて行きたい。

宮本議員 村長等給与カットを実施されているが、財政上、どのような効果に結び付いているのか。

柳詰村長 行政の無駄を徹底的に削



宮本 議員

減し、将来の子供たちへ付けを残さないよう行財政改革を進めなければならぬと思います、まずは「隼より始めよ」の精神から給与カットを行っている。年額で総額300万円ほどの削減である。

宮本議員 現在、村民防災会議や地域防災ブロック会議など開催され、行動計画が策定されるにあたり、一つの節目を迎えたあと、地域座談会の開催の考えは。

柳詰村長 10月中旬に各ブロック会議の実施計画を検討中である。平成30年度までに地域ごとの事前防災行動計画、タイムラインが完成するよう準備をしたい。座談会については、時期が来たら準備して地域に回りたい。



買い物弱者対策が望まれる

宮本議員 地方創生拠点整備交付金事業で、一勝地駅周辺の整備が行われ、チャレンジショップのオープンが計画されている一方で、1月から一勝地地区に店舗がない状況となる。子供や高齢者をはじめとして、地域の方々の買い物に支障が出てくるがその対策は。

柳詰村長 買い物支援事業については、また、別に考えていかなければならないと思っている。

高澤議員 本村において少子高齢化に伴う人口減少社会の到来、地方分権の進展といった時代の流れは、すべての自治体の行財政運営に構造的な変革を迫っている。

平成28年度決算では歳入総額44億5600万円程度、内普通交付税19億1千万円。

今回決算特別委員会にて決算の審議を行ったところである。すべての課、課長を中心にそれぞれの事業の把握と使命感・責任を持って職務を全うしている事に、士気を感じている。

平成29年度当初予算31億5千万、平成27年度国勢調査に基づき地方交付税額も1億円減少。なお、さまざま要因で補正、最終的には地方債と将来の財政需要に備え積み立ててきた基金を取り崩し、財政運営となるだろうと考える。

財政健全化の考え方とは、この当初予算をそれぞれの事業ごと、計画的に遂行することが健全化と、とらえるべきか、常日頃から考えている。

村長は、厳しい財政の中にかかりとした財政運営をと述べているが、実質収支比率、経常収支比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の数値を見る限りでは、健全財政運営と言えるが、現在の事業で将来の財政運営はどうか疑問に感じている。

依存財源に頼らざるを得ない状況の中で村長の考える将来の財政力強化の考えについて伺う。

柳詰村長 将来における財政の見通しについて、国の方針によって左右されやすい財質体制であり将来的な財政の負担については不透明な部分もある。本村に対する今年度の普通交付税額は昨年と比べ1億円程度の

減額となっている。将来的負担について、平成28年度結果では将来負担額に対し充当可能財源が上回っているため、将来へ負担を残すような財政状況ではないという判断となっている。財政確保について、国、県の各種補助事業を積極的に活用することで財源を確保し、地方債に関しても交付税措置のある高い有利な地方債を中心に活用することで、将来への負担を少しでも軽減させる努力を行っている。村政運営に必要な財源は確保出来ている。

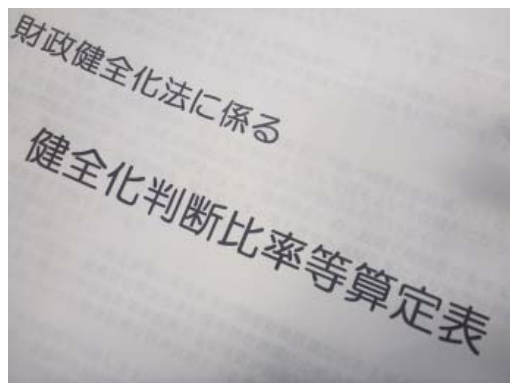
答 球磨村に住んでよかったと感じて頂けるような村づくりを行い、健全な財政運営に努めていく。

財政健全化・将来の財政力強化について



高澤 議員

財政力指数(※)の上昇に対する考えとその取組については、基準財政収入額の根拠とも言える税収が少なくともあり、平成28年度は0.13となっている。財政力指数を上昇させる事は短時間で成し遂げるものではなく地道な取組が必要。特に人口



減少は大きな課題であると認識し、球磨村を定住の地として選んで頂くためのさらなる取組が必要であると考える。また、住む場所、働く場、企業誘致等、人吉・球磨一体となって課題解決する必要があると考える。いずれにしても朝夕で成し遂げるものではないので球磨村に住んでよかったと感じて頂けるような村づくりを行い、健全な財政運営に努めていきたいと考えている。

※財政力指数
地方公共団体の財政力を示す指標。

頑張ってます 農愉会

2014年、村内の新規就農者が集まり、正式に球磨村農愉会を結成させて頂きました。メンバーは果樹・露地野菜・酪農、そして田舎の体験交流館さんがうらの従業員もおります。結成した目的は我々若手農業者が球磨村の農業を盛り上げていこうという思いが一番です。結成当初は年に数回飲み会をし、情報を共有し合おうという会でした。一昨年から比較的新しい品種のさつまいも、



農愉会メンバー

シルクスイートを栽培しております。収穫した芋はふれあい祭りで青果販売しました。一部は村内の給食センターに寄付させて頂き、給食のメニューにも取り入れて頂きました。シルクスイート1年目の挑戦ではありましたが、お客様の受けが良く手応えを感じ、来年は加工販売「石焼き芋」をしようという話になりました。なにか事業を使って石焼き芋機を購入できないだろうか悩んでいたところ、球磨村しごと創生事業に出会うことができました。そこでシルクスイートの販路拡大・ブランド化を目的に東京研修に行かせて頂きました。同じく事業で石焼き芋機を購入し、今年のふれあい祭りでは石焼き芋・青果販売する予定です。ぜひ皆様にも美味しい石焼き芋を召し上がって頂ければと思います。

今後の農愉会としては、まずは地域に根付かせ、農愉会が先頭に立ち球磨村を盛り上げていきます。将来は新たに農業を始める方が、農愉会という会があるから頼もしいと思われる会にしたいと思っています。

(農愉会代表 犬童 一成)

編集後記

実りの秋、スポーツの秋到来です。9月に九州に上陸し日本列島を縦断した台風18号は上陸前から強風、大雨等の被害が心配されましたが、予想進路より南寄りの進路だったため球磨村に大きな被害もなく安心したところでした。村内の水田でも鳥獣害と戦いながら稲刈り作業も進んでいるようです。黄金色に染まった水田を見ると、一年間の苦勞を考え、小さな感動さえ感じます。

今回若手農業者グループ「農愉会」を掲載しました。大きな夢に向かってこれからの活躍を期待します。

犬童 勝則

議会広報特別委員会

委員長	多武 義治
副委員長	犬童 勝則
委員	小川 俊治
委員	高澤 康成
委員	宮本 宣彦

■球磨村世帯数:1,513世帯 ■人口:3,853人 男:1,824人 女:2,029人(平成29年10月1日現在)